

◆技術交流事業

シャコガイ類の養殖現場視察および種苗生産研修

水産海洋技術センター本部駐在 上原匡人

1. 目的

塩屋周辺海域でシャコガイ類の養殖に従事し、種苗生産を試みている新崎悟一氏が、シャコガイ類の養殖先進地である池田元指導漁業士の養殖現場を視察し、養殖や流通の実際を学ぶとともに、種苗生産の方法について理解を深めることを目的とする。

2. 視察および研修日程

日 時：平成 27 年 10 月 14 日

視察先：八重山漁協 池田 元 指導漁業士の養殖場

研修先：沖縄県水産海洋技術センター石垣支所

3. 視察・研修の内容

(1) シャコガイ類の養殖場視察

登野城地先にある池田指導漁業士の養殖場を視察した。まず、船上にて池田指導漁業士より養殖の概要について説明を受けた後、実際に海に入り、ケージの中で養殖されているヒメジャコを観察した。また併せて、今年度購入した種苗を例に、養殖に係る一連の作業を体験した。

なお、夕方からは、池田指導漁業士より提供のあったヒレジャコを食しながら、シャコガイ養殖や流通等の意見交換を行い、交流を深めた。

(2) 種苗生産研修

新崎氏は、すでに大城信弘普及指導員からヒメジャコについて種苗生産の指導を受けており、栽培センターが実施する種苗生産研修にも参加している。本研修では、石垣支所の南主任研究員より、ヒレナシジャコの種苗生産の方法について説明を受け、実際に使用している機材や水槽規模、今年度生産した種苗の成育状況等について説明して頂いた。

なお、研修終了後、ヒレナシジャコ 2000 尾の種苗を購入し、試験的に養殖を行うこととなった。

3. 今後の課題

新崎氏は、シャコガイ類だけでなく、海ぶどう、ヒトエグサなどの海藻養殖に加え、タコ採りも行っており、複合的な漁業を展開している。そのため、種苗生産や養殖において、人的・時間的な面から管理不足にならないよう留意する必要がある。今後も定期的な巡回指導を通して、支援していきたい。また、同氏が本視察・研修の終了後に、塩屋地区や周辺地区でシャコガイ類の養殖を営む漁業者に対し、指導的な役割を担うことを切に希望する。

最後に、視察を受け入れて下さった池田元指導漁業士に感謝の意を表します。



船上で池田指導漁業士から説明を受ける新崎氏



種苗の撒き方の説明を受ける新崎氏



ヒメジャコ種苗を撒く新崎氏



種苗生産の概要について講義